

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

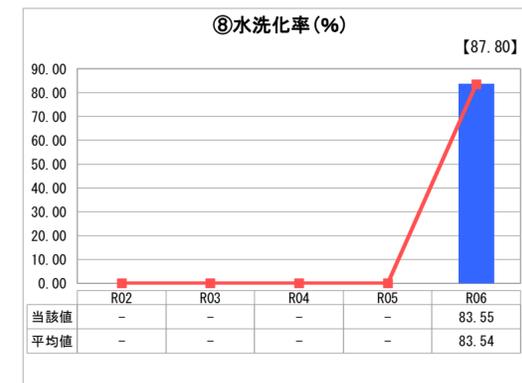
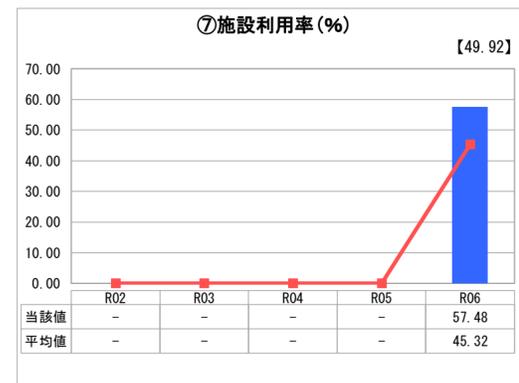
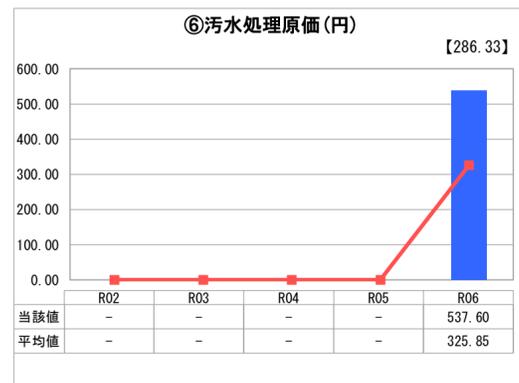
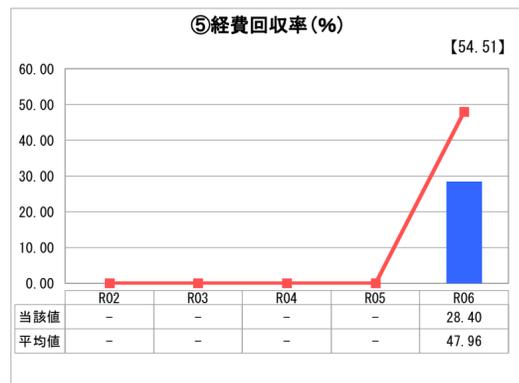
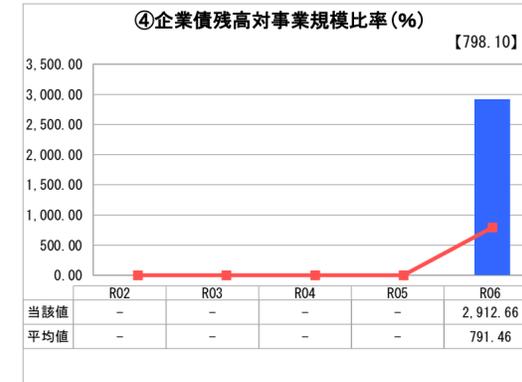
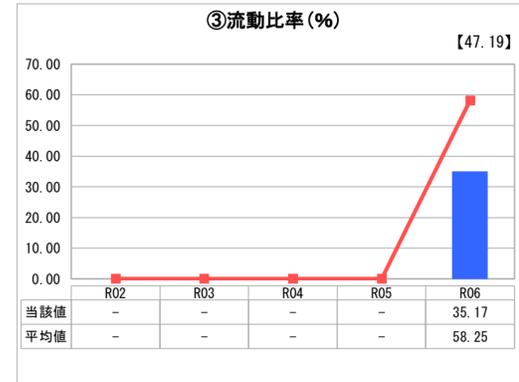
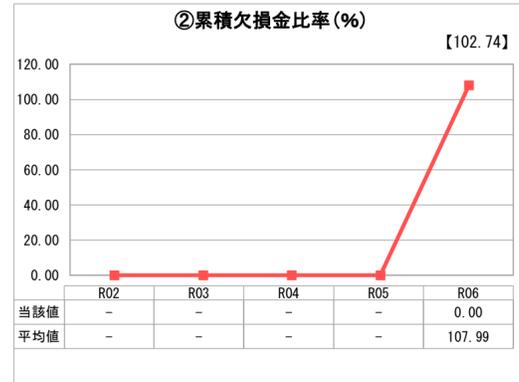
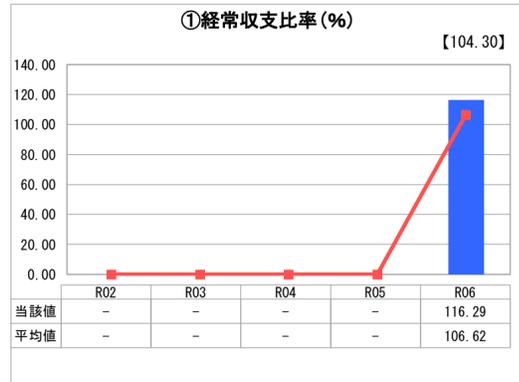
福井県 勝山市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	60.03	11.62	91.55	2,783

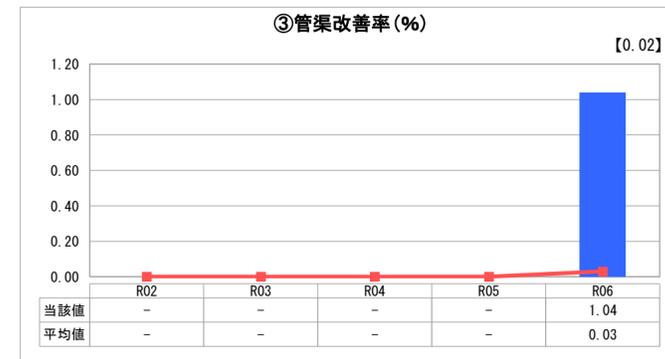
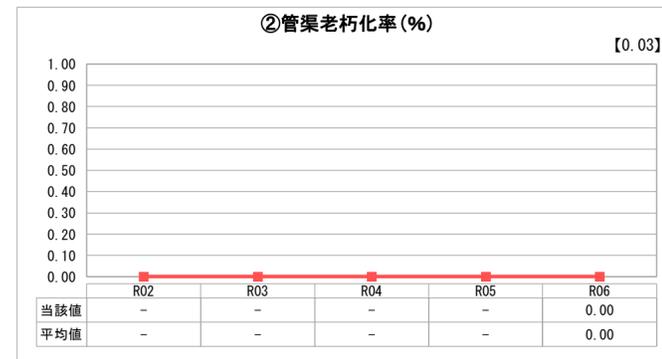
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
21,056	253.88	82.94
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
2,425	1.64	1,478.66

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①「収益的収支比率」について、令和6年度から公営企業会計に移行し、一般会計からの基準外繰入金により高い値となったが、令和9年度以降は基準外繰入金に依存しないよう料金改定を検討している。

②令和6年度から公営企業会計に移行し累積欠損金は無い。

③流動比率について、平均と比較し低い値となっているが、交付税対象となっている企業債の償還による影響が大きく、企業債償還を除く流動比率については現金を確保出来ている。

④企業債残高対事業規模比率については、平成5年の整備開始に伴い借入した企業債残高が大きい、令和13年度以降大きく減少していくことが見込まれる。

⑤「経費回収率」及び「汚水処理原価」は、平均と比較し高い値となっている。今後公共下水道への接続を検討しており、施設の効率化、経費削減を図りたい。（長期前受金分の増加修正により経費回収率を54.44%、汚水処理原価を280.47円に修正）

⑦「施設利用率」は、今後人口減少に伴う処理水量の減少が予想されるが、公共下水道への接続等効率的に施設を利用できるよう検討していく。

⑧「水洗化率」は、大きな変化は無いが今後公共下水道への接続に併せ、水洗化を促進していきたい。

### 2. 老朽化の状況について

整備開始が平成5年度であり、法定耐用年数を迎える管路は無いが、下水道事業運営の効率化のため公共下水道と接続や機能強化工事を行う必要がある。

## 全体総括

施設規模が小さいため、維持管理コストは増大の傾向にあり、今後は経費回収率が低下、汚水処理原価が上がっていくことが予想される。今後は公共下水道への接続の検討を行うとともに、適切な施設の整備・更新及び維持管理、適正な使用料の設定に努めていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。